

パートナーシップ制度の調査研究について

1 本市のパートナーシップ制度導入に対する基本姿勢

(1) 主な導入契機

- ① 施政方針や選挙等における市長の意思表明を契機
- ② 議会への陳情・請願等に対する議決結果を契機
- ③ 基本計画に位置付けている施策として実施

(2) 本市の状況

- ①' 「意識醸成の取組を継続しながら、具体的な施策について検討する」
- ②' 「パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度に関する陳情」
 - ・令和 3 年 12 月＝継続審査
 - ・令和 4 年 3 月＝趣旨採択(※)

(※) 願意は十分に理解できるが、当面の間は実現することが困難な場合に用いる「趣旨には賛成」という議決

③' 第四次男女共同参画計画（令和 2 年 3 月策定）

事業：性の多様性に関する理解の促進

内容：性的少数者に対する直接的支援

「パートナーシップ制度等の具体的な施策について検討する」

目標：実施

2 武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会における検討（案）

(1) 考え方

市民が利用できる東京都パートナーシップ宣誓制度及び都内自治体の動向を調査研究し、本市に必要な取組等を整理するとともに、本市において、今後、パートナーシップ制度導入やセクシュアル・マイノリティに関する条例制定等の方針決定がなされた場合に迅速に対応できるようにする。

(2) 進め方

Step	主な会議内容	開催目途	
1	今後の会議の進め方の確認	第 1 回	R5. 6 月
2	都内自治体の制度の研究	第 2-5 回	↓
3	東京都制度と本市の状況整理	第 6-7 回	R6. 6 月